



報道関係各位

## エネルギー利用効率を明確化する「PUE 計算 WEB アプリ」を提供開始

～ ITに関する消費電力量を把握し、継続的に PUE を評価 ～

2015 年 5 月 12 日

40 年以上にわたり IT ファシリティのフィールドで None-Stop ファシリティサービスの実績とそのノウハウを蓄積、提唱してきた、日本電算設備株式会社（略称：ニッセツ、本社：東京都中央区、代表取締役 斎藤 幸二郎）は、データセンターや金融・医療・研究・教育機関、オンプレミス運用企業の IT に関するエネルギー利用効率を明確化する「PUE 計算 WEB アプリ」を 2015 年 5 月 15 日から提供開始します。従来のインテリジェントセンシングサービスに、エネルギー利用効率を計測する PUE 計算機能を追加するもので、インテリジェントセンシングサービスは 1 ライセンスにつき 194,400 円（年間）からご利用いただけます。

現在、企業におけるエネルギーコストの割合は増加傾向にあります。不安定な国際情勢の中、原油価格も中長期的には上昇が懸念され、円安の影響から長期的にはエネルギー価格はさらに上昇していくと予測されています。国内では電気料金が値上げされ、企業経営においては、今後、増大が予測されるエネルギーコストをいかに抑えていくかが、重要な経営課題の一つとなっています。

IT に関するエネルギーコストを抑えるには、まずは、その利用効率を把握することが大切です。その指標となるのが「PUE (Power Usage Effectiveness : 電力使用効率)」。

これは、おもにデータセンターのエネルギー効率を表す指標で、2007 年に米国のデータセンターの省エネ化を推進する業界団体である The Green Grid (グリーン・グリッド) が発表しました。金融・医療・研究・教育機関、オンプレミスでの運用企業も継続的に PUE を把握することで、エネルギー利用効率をはじめ、IT 機器と付帯設備の電力利用構成を確認できます。また日本のように四季があり、季節ごとに消費電力量が大きく変動する環境では、継続的に PUE を評価することが、IT ファシリティの運用管理において重要です。

ニッセツは、以前より IT ファシリティの運用管理に特化したさまざまな機能を持つ WEB アプリケーションをインテリジェントセンシングサービスとして提供してきました。このほど、それらに PUE 計算機能を追加し、エネルギー利用効率を手軽に把握できるシステムとして提供開始します。同アプリケーションのライセンスをすでに所有されているユーザは、無償で利用できるほか、2015 年 11 月末まですべての機能が無償で利用できるトライアルライセンスの提供も開始いたします。

一般的に PUE の値が大きい場合（エネルギー利用効率が高い場合）には、消費電力の少ない最新のサーバ、ストレージ、ネットワーク機器へのリプレース

や仮想化などが解決策として挙げられます。ただし、効率の低い旧式の空調機やUPSなどのリプレースも、さらに効果的な解決策になります。ニッセツでは、ITファシリティのコンサルティングをはじめ、最新技術を搭載したコンパクトで効率の高い空調機やUPSなどの販売や設置工事サービスもトータルに提供し、企業におけるエネルギーコストの抑制を総合的に支援していきます。

◆ 発売開始：2015年5月15日より

#### 「PUE 計算 WEB アプリ」の主な特長：

PUEの計算では、IT機器の消費電力量とデータセンター全体の消費電力量（データセンター以外であればサーバ室など）を記録する必要がありますが、現在はSNMP（Simple Network Management Protocol）通信機能を実装する電力量計測用の機器も多く存在し、さまざまなメーカーから販売されています。これらの機器を利用することで、IT管理者も容易に消費電力量を取得することができます。

今回のPUE計算WEBアプリは、世界中のIT運用で利用され、監視対象数に制限なく無償利用できる「Zabbix」※を活用しています。SNMP通信で消費電力量の記録を行うため、専用ソフトウェアなどを別途に購入する必要はありません。なお、消費電力量の記録をシステム的に行えない環境では、マニュアル入力（手入力）による登録機能もサポートしています。

導入後は、PCやタブレットのWEBブラウザを利用してPUEや消費電力量の推移をグラフィカルに分かりやすく参照できるようになります。複数のサイトを運用されている場合は統合的にPUEを管理することで、運用管理の効率化を図ることができます。またPUEや消費電力量の計算値はCSVファイルでダウンロードできるため、他のアプリケーションでの二次活用も自由に行えます。

※ZabbixはZabbix SIAのラトビアおよびその他の国における登録商標または商標です。

※Zabbixのデータを利用するアプリケーション機能（追加プラグイン）は無償でご利用いただけます。

#### ◆ 想定される主な導入先

- ・データセンター
- ・金融・医療・研究・教育機関
- ・オンプレミス運用企業

#### ◆ WEB アプリケーション動作環境

サポート言語	日本語 (ja)、英語 (en-US)
サーバOS *1	CentOS (x86-64) 6, 7 / Debian (amd64) 6, 7, 8 / Ubuntu (amd64) 12.04 LTS, 14.04 LTS
WEB ブラウザ *1 *2	Firefox 37.0 以上 / Google Chrome 42.0 以上 /

Internet Explorer 10.0 以上 / Opera 29.0 以上 /  
Safari (OSX) 7.0 以上 / Safari (iOS) 8.0 以上  
(QXGA 以上)

Zabbix

2.0, 2.2, 2.4 (データベースは MySQL)

\*1 弊社確認済みのバージョンです。

\*2 Flash Player、Java、Silverlight 等のアドオンのインストールは不要です。

### ◆ 価格

1 ライセンス 年間 194,400 円～ (詳細は別途お問い合わせください)  
なお 2015 年 11 月末まで無償ですべての機能が利用できるトライアルライセン  
スの提供を開始いたします。トライアルライセンスをご希望される場合は  
press.marketing@nissetsu.co.jp までご連絡ください。

### ◆ 本商品のソリューションパートナー

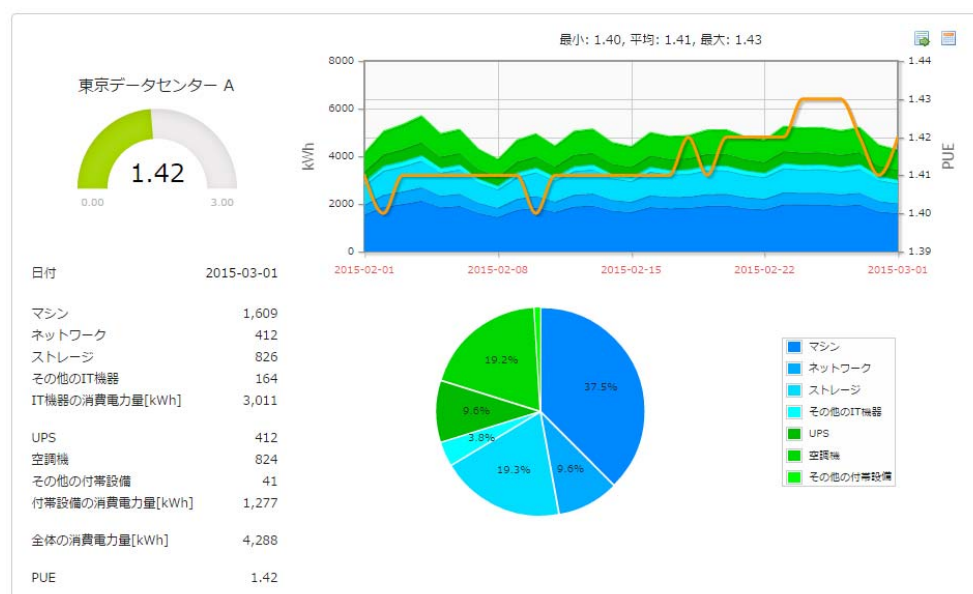
株式会社情報工房  
TEL: 03-5447-6812 (営業部)

<http://www.johokobo.co.jp/>  
e-mail: sales@johokobo.co.jp

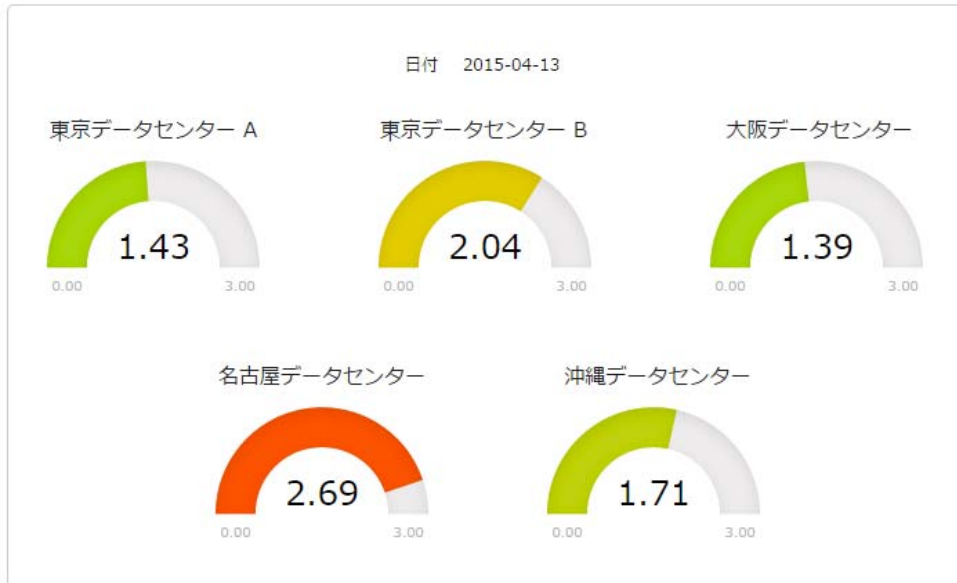
株式会社アイエスエイ  
TEL: 03-3208-1563 (営業部)

<http://www.isa-j.co.jp/>  
e-mail: info@isa-j.co.jp

### ◆ WEB アプリ画面サンプル



PUE の計算値をはじめ、要素別の消費電力量などを詳しく表示

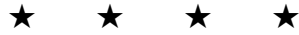


複数のサイトがある場合は、各サイトの PUE 状況を一覧表示

| 沖縄データセンター ▼ 2015-04-10

	空調機全体	1系受電	2系受電
2015-04-01	1202	3876	0
2015-04-02	1215	3994	0
2015-04-03	1241	3915	0
2015-04-04	1229	3835	0
2015-04-05	1270	3759	0
2015-04-06	1281	3858	0
2015-04-07	1252	3756	0
2015-04-08	1262	3816	0
2015-04-09	1291	3847	0
[ 2015-04-10 ]	1289	3927	
2015-04-11			
2015-04-12			
2015-04-13			

システムの消費電力量を記録できない場合は、マニュアル入力（手入力）で登録



【本プレスリリースに関する情報】

添付資料：写真 3 枚

「インテリジェントセンシングサービス」ホームページ:

<http://www.nissetsu.co.jp/it/itfacility/isservice.html>

または

<http://www.nissetsu.co.jp/>

報道関係各位お問い合わせ先：

経営企画部

TEL：03-5542-0267

FAX：03-3553-2274

お客様お問い合わせ先：

ホームページのお問い合わせページ：

<https://www.nissetsu.co.jp/contact/>

または下記連絡先

TEL：03-5542-0267

e-mail：[press.marketing@nissetsu.co.jp](mailto:press.marketing@nissetsu.co.jp)

【会社概要】

社名：日本電算設備株式会社

設立：1973(昭和48)年1月

資本金：1億7,820万円

代表取締役社長：斎藤 幸二郎

住所：104-0033

東京都中央区新川1丁目22番11号(永代ビル)

ホームページ：<http://www.nissetsu.co.jp/>

※文中の社名、商品名、機種名、各社の商標は登録商標です。

※日本電算設備株式会社は本ニュースリリースの記載内容に技術的誤りや欠落、記載にあたっての誤りや漏れがあった場合でも何ら責任を負いません。

2015年05月